

立命館経済學

第 39 卷 第 4 号

1990年10月

内 容

論 説

「三月革命」と官僚政治の相対的自立性の

維持〔選挙法と5月選挙〕……………川 本 和 良 1
——三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と
社会政策および中間層政策の展開 (10)——

米国南部の工業化のメカニズム……………藤 岡 惇 26

産業別日本経済マクロ計量モデルの計測……………稲 葉 和 夫 59
森 川 浩 一 郎

ドイツ三月革命期における葉巻労働者の運動 (上) ……山 井 敏 章 86
——生産協同組合の問題を中心に——

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第39巻・第2号

論 説

サービス労働・商業労働の価値形成性……………小 檜 山 政 克
——『資本論』の批判的分析——

流動性選好は危険回避の為か……………平 田 純 一
——3資産モデルによる分析——

航空宇宙産業の国際的再編について……………大 西 広

研 究

戦後日本の貿易分析について……………茶 谷 淳 一

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第39巻・第3号

論 説

地域経済学の体系に関する一考察……………杉 野 圀 明
——宮本憲一氏の地域経済学体系批判——

アメリカ南部の農業革命（1933年～1980年）……………藤 岡 惇
——その世界史的意味

CHOW テストによる日本経済の構造変化分析……………本 田 豊

「社会主義」におけるフィリップス曲線と
「スタグフレーション過程」……………大 西 広

研 究

利潤率低下法則と固定資本……………増 田 和 夫
——マルクス『経済学批判要綱』を中心にして——

発行所 立命館大学経済学会